

令和2年2月7日（金）

愛知県公立大学法人 愛知県立大学

担当：戦略企画・広報室 吉田

電話：0561-76-8636

E-mail:kouhou@puc.aichi-pu.ac.jp

愛知県立大学の学生と企業が共同して、ニューヨークで 和紙・和紙製品の展示会を開催します

日本の「和紙」については、その伝統的な「手すき和紙技術」が2014年にユネスコ無形文化遺産に登録され、国内外において注目が高まっていますが、和紙の需要は全体として低迷している状況にあります。

このような状況に対し、今年度の愛知県立大学主催の学生自主企画研究において、外国語学部の学生が和紙文化の発信、海外展開の強化、国内市場の活性化を目的に株式会社森木ペーパーと共同して、2月末から3月上旬にかけて、ニューヨークのブルックリンで和紙の展示会を開催することを企画しました。

展示会で、学生たちは、来場者の対応を行います。和紙文化の発信を行うとともに、英語で作成したアンケートをもとに和紙に関する意見を聞き取り、外国人の視点から得られる和紙の新たな可能性を見出すことを目指したいと考えております。

現地への出発前（2月16日出発予定）及び帰国後も取材いただけますので、是非、貴社にてご取材くださいますようお願い申し上げます。

1 展示会の概要

- (1) タイトル 「The Story of Washi in New York -Moriki Paper, the leading exporter of Japanese paper to the U.S.-」
- (2) 展示期間 2020年2月28日（金）から3月8日（日）までの10日間（現地時間：10時から19時まで）
- (3) 展示場所 NPO法人J コラボ（ブルックリンで日本文化紹介事業を行うNPO法人）
（アメリカ合衆国ニューヨーク州ブルックリン7番街300）



（展示場所の外観）

2 展示会の内容

- (1) パネル展示

県立大学生（以下「県大生」）が作成した和紙に関する基礎知識を正しく伝えるためパネルを展示。パネルは英語と日本語の2か国語で作成。また、学生たちは英語で来場者への対応を行う。

(パネルの内容)

- ・和紙に関する基礎知識 (和紙の原料、歴史、製造工程や洋紙との違い等)
- ・企業 (株式会社森木ペーパー) 紹介 等

(2) 和紙製品の展示

暮らしの中での和紙の利用方法を知ってもらうため、様々な和紙製品を展示。展示会場における和紙製品のレイアウトは、愛知県立芸術大学の学生と協力して行う予定。

(和紙製品)

- ・バッグ、名刺入れ、便箋、朱印帳、行燈、型染カレンダー、柿渋座布団等 (予定)

(3) 和紙に関するワークショップ

和紙に親しんでもらうため、県大生によるワークショップ実施

- ・ランプシェード作り (3月1・7・8日の3日間) ※要予約
- ・書道体験 (3月1・7・8日の3日間)
- ・折り紙の体験 (展示期間中毎日)

(4) 和紙に関するアンケート調査

海外展開の強化と国内市場の活性化を図るため、県大生が英語で作成したアンケートをもとに、来場者から和紙に関する意見を聴取し、外国人の視点から得られる和紙の新たな可能性を見出すことを目指す。アンケートの結果については企業へのフィードバックを予定している。

(主なアンケート内容)

- ・和紙に対する認知度、イメージ
- ・現地で受け入れられそうな製品
- ・和紙の利用法 等

3 参加学生

愛知県立大学外国語学部生 14 名 (2 年 9 名、3 年 1 名、4 年 4 名)

4 今後の活動

帰国後、愛知県立大学長久手キャンパスにおいて、報告会を実施予定。

予定時期 : 3 月 16 日 (月) から 19 日 (木) の間 (報告会の実施については、お問合せください。)

(参考)

学生自主企画研究について

学生の自主性、創造性を刺激することにより、勉学意欲の向上を図るため、学生自主企画による研究プロジェクトを公募し、採択されたものに対して、大学が研究資金を助成する企画。今年度は 12 件のプロジェクトが採択された。

2018 年には、この企画による国の年金制度に関する研究内容が、厚生労働省年金局の担当者の目に留まり、研究成果について厚生労働省で発表を行い、高い評価を得た。

【過去 3 年間の採択件数の以下のとおり】

年度	採択件数
平成 28 年度	12 件
平成 29 年度	10 件
平成 30 年度	10 件